

毎月勤労統計調査地方調査結果 [福岡県] の概要 (平成18年5月分)

主なポイント

〔前年同月比でみて〕

- ・ きまって支給する給与は増加
- ・ 所定外労働時間は増加
- ・ 常用労働者数はやや増加

1 賃金の動き

常用労働者の一人平均の現金給与総額は、全規模の調査産業計で253,441円、前年同月比2.2%の増となった。(規模30人以上では285,828円、2.0%増)

(1) 所定内給与

全規模	235,881円、	2.8%増
規模30人以上	263,245円、	2.8%増

(2) きまって支給する給与：所定内給与と所定外給与をあわせたもの

全規模	251,255円、	2.6%増
規模30人以上	284,065円、	2.8%増

- ・ きまって支給する給与が増加した産業(全規模)
情報通信業 13.2%増、運輸業 9.9%増
- ・ きまって支給する給与が減少した産業(全規模)
飲食店、宿泊業 13.1%減、教育、学習支援業 3.7%減

(3) 特別に支払われた給与

全規模	2,186円	27.6%減
規模30人以上	1,763円	59.8%減

(4) 実質賃金：現金給与総額を消費者物価指数で除した額

全規模	1.9%増
-----	-------

2 労働時間の動き

一人平均月間実労働時間は、全規模の調査産業計で147.8時間、前年同月比2.5%の増となった。(規模30人以上では150.9時間、2.7%増)

(1) 所定内労働時間

全規模	138.7時間、	2.4%増
規模30人以上	139.9時間、	2.2%増

(2) 所定外労働時間

全規模	9.1時間、	3.3%増
規模30人以上	11.0時間、	11.1%増

- ・ 所定外労働時間が増加した産業(全規模)
建設業 10.6時間、58.3%増
金融・保険業 10.2時間、36.0%増
- ・ 所定外労働時間が減少した産業(全規模)
教育、学習支援業 3.8時間、49.3%減
不動産業 2.6時間、36.6%減

3 雇用の動き

常用労働者は、全規模の調査産業計で1,601,486人、前年同月比0.8%の増となった。

そのうち、パートタイム労働者は421,951人で、26.3%(男性労働者のうち13.3%、女性労働者のうち42.3%)を占めており、この比率は前年同月から0.8ポイント減少した。

- ・ 産業別パートタイム労働者の占める割合(全規模)
飲食店、宿泊業 78.1%
卸売・小売業 40.6%
サービス業(他に分類されないもの) 26.6%

* 注意

・ 増減率はすべて前年同月比である。なお、日本標準産業分類の改訂による産業分類内容の変更に伴い、増減率は産業分類により、計算方法が異なる。

「TL 調査産業計」、「F 製造業」は、平成16年1月分以降の指数を修正し指数比較で計算。
「E 建設業」、「G 電気・ガス・熱供給・水道業」は、平成15年以前の指数にそのまま平成16年の指数を接続させて、指数比較で計算。

その他の産業大分類(「H 情報通信業」、「I 運輸業」等)は、指数の作成ができないため実数比較により計算。